

令和5年度 厚生労働省委託事業

「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」

連携型BCP・地域BCP策定に関するモデル地域事業の取組み

令和5年度 連携型BCP・地域BCP策定に関するモデル地域事業

《事業趣旨》

近年多発している自然災害や今般の新型コロナウイルス感染症等、医療設備への被害、従業員が感染した場合等においても、在宅療養患者に対して継続して医療を提供し続ける必要がある。

病院等の一定程度の規模を持つ医療機関では、事業継続計画（以下「BCP」という。）の策定等を通じて、災害時における医療提供体制が強化されつつある。しかし、在宅医療については、患者が機関外にいるという特性があり、災害時には自機関の施設の事業継続に加え、在宅医療の提供継続のため、行政や他の医療・介護提供機関等と連携する必要がある。そのため、自施設（機関型）のBCPのみならず、同業・類似事業所間の連携による連携型BCP、さらには、その地域全体の医療・ケアの継続と早期復旧を目的とする地域BCPへスケールアップしていく必要がある。

先進的に連携型BCP・地域BCP策定に取り組む地域をモデルとし、今後の全国展開に資するプロセス使用されるツール類を創出することを事業趣旨とする。

令和5年度 連携型BCP・地域BCP策定に関するモデル地域事業

《事業概要》

対象地域：参加申請のあった自治体・機関のうち、本事業内に設置された専門家委員会で協議を行い、対象地域の選定を行う。

実施内容：地域内の解決したい課題をもとに、地域BCPの策定を支援する専門家委員会と協議のうえ、取り組み内容や成果案を決定し、専門家委員会メンバーの伴走支援を得ながら事業を実施する。

実施期間：決定日から令和6年2月29日まで

《伴走支援者》

【BCP専門家委員会委員長】

山岸 暁美 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室
一社）コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長

【専門家委員】

小井土 雄一 独立行政法人国立病院機構本部DMAT事務局 DMAT事務局長
池上 徹則 大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院 救急科主任部長
古屋 聡 山梨市立牧丘病院 整形外科・訪問診療医師
遠矢 純一郎 医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック 院長
清水 政克 医療法人社団清水メディカルクリニック 理事長・副院長
市川 学 芝浦工業大学システム理工学部 准教授

令和5年度 柏市におけるモデル地域事業の取り組み

《取組の背景と経緯》

- 新型コロナの感染拡大により、在宅医療等を実施する診療所の医療スタッフが感染、出勤できなくなるなど、診療継続が難しい状況が発生した。
- BCP策定が義務化された訪問看護ステーション・介護サービス事業者は、各事業所においてBCP策定に向けて動いているが、義務化されていない在宅療養支援診療所等の医療機関は、現時点で自施設のBCP策定に向けた気運があまり高まっていない。
- 柏市医師会の災害医療対応マニュアルにおいて、災害時の医療救護体制や在宅患者への対応を示しているが、多職種と共有できていない。
- 柏市医師会としても各診療所のBCP策定は重要な課題としており、さらに同職種・多職種との連携が必要と認識している。



柏市医師会と柏市（地域医療推進課）の連名でエントリー

（参考；全国で26地域が採択）

令和5年度 柏市におけるモデル地域事業の取り組み

《目的》

- 訪問診療を行う診療所が、連携型BCP・地域BCPの必要性を認識し、自施設のBCP策定に取り組むことができる。
- 在宅医療の災害時における課題を整理、関係者と共有し、対応策について具体的な検討を進めるための体制構築、次年度以降の取組みのロードマップ作成（連携型BCP、地域BCPの策定に向けた基盤整備）。

《取組み内容》

- 診療所、訪問看護ステーション、介護サービス事業者等を対象とした連携型BCP・地域BCPをテーマとした研修会の実施。
- 「顔の見える関係会議（圏域会議）」において、連携型BCP・地域BCPをテーマとした意見交換を実施（災害時における課題抽出、対応策の意見出し）。
- 連携型BCP・地域BCP策定のためのワーキンググループを設置し、次年度以降の取組みについて検討（ロードマップ作成）。

令和5年度 柏市におけるモデル地域事業の取り組み

《モデル地域事業 スケジュール（予定）》

時 期	内 容
9月	連携型BCP・地域BCP策定に向けたコアメンバー会議設置 （柏市医師会/訪看連絡会/ケアマネ協議会/介護サービス事業者協議会） ※9/6に第1回会議開催
	顔の見える関係会議（圏域会議）のための 合同ファシリテーター会議（9/11開催） ・災害発生時に想定される課題と優先的な取組みについて検討 ※圏域会議のテーマ決定
10月	モデル地域事業 進捗報告会（10/8） ※モデル事業に取り組む26地域の進捗報告
	研修会「在宅医療の災害時における業務継続計画(BCP)について」（10/30開催）
11月	顔の見える関係会議（圏域会議・4エリアで開催） ・災害発生時の課題への対応策についての意見出し
12月	連携型BCP・地域BCP策定に向けたコアメンバー会議 ・圏域会議の意見を踏まえ、対応策の具体化に向けた協議体制（ワーキンググループ設置）の検討 ・連携型BCP・地域BCP策定に向けたロードマップの素案作成
2月	モデル地域事業 報告会（2/4開催予定） ※モデル事業に取り組む26地域の事業報告
	第1回 連携型BCP・地域BCP策定ワーキンググループ開催 ・連携型BCP・地域BCP策定に向けたロードマップについて協議
4月以降	ロードマップに基づき、連携型BCP・地域BCP策定に向けた協議、取組みを実施

令和5年度 柏市におけるモデル地域事業の取り組み

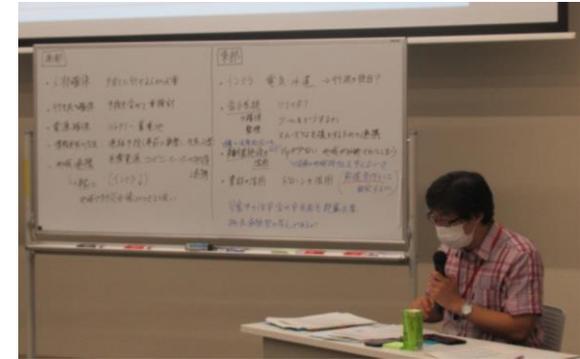
9月11日開催 合同ファシリテーター会議

- 連携型BCP・地域BCPのレクチャー
- グループワーク

参加者 67人 医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、管理栄養士、理学療法士、介護支援専門員、介護職、地域包括支援センター 等

工程1：在宅療養者の事例を用いて、災害（震災）発生時に想定される課題を抽出

工程2：抽出された課題の中から、圏域会議で解決に向けた具体策を検討する課題を決定



《災害発生時に想定される課題》

- ・ 情報共有の方法、連絡手段の確保
- ・ 人材の確保
- ・ 避難先の確保
- ・ ライフライン（電気、水道等）の確保
- ・ 指示系統の整理、地域連携（役割分担）



《 圏域会議で解決への
具体策を検討する課題 》

情報共有のあり方

【研修会】 在宅医療の災害時における業務継続計画(BCP)について

オンライン開催 ～地域の医療・ケアを継続するための連携型BCP・地域BCP～

日時：令和5年10月30日（月）19:00～20:30

対象：柏市内の在宅医療・ケア関係者

内容：《 講演 》

「地域BCPのススメ」

～スタッフ、そして患者・利用者のいのちと生活を守るために～

講師 山岸 暁美 氏

慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室

一社）コミュニティヘルス研究機構 機構長・理事長

《 事例発表 》

「災害シミュレーション訓練を通じて気付いた自助の重要性」

講師 勝本 公章 氏

南柏訪問看護ステーション 理学療法士

定員：先着250人（当日視聴人数）

主催：柏市医師会・柏市